

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）  
**A**：十分達成できている  
**B**：おおむね達成できている  
**C**：やや不十分である  
**D**：不十分である

学校名 **鹿島市立鹿島小学校**

1 前年度 評価結果の概要	① 学力向上	：話し合ったり、説明したりする活動の継続。読書活動の工夫と家庭と連携した家庭学習の啓発	② 心の教育	：毎月のいじめ・一事行アンケートによる実態把握と個への関わり。地域学習の充実。
	③ 健康・体づくり	：学校行事と関連させた運動の習慣化と食育の推進	④ 業務改善・働き方改革	：業務のデジタル化の推進。子どもと向き合う時間の確保
	⑤ 特別支援教育の充実	：個別の支援計画、指導計画に基づく配慮や支援の継続。関係機関との連携推進。		

2 学校教育目標 **いのち輝く 鹿島っ子の育成～「気づき・考え・行動！ 昨日より今日、今日より明日」でみんなかつやく！一歩前進**

3 本年度の重点目標	◎ 学力の向上	：主体的で対話的な学習づくりの推進 家庭学習の充実 学校図書館を活用した読書活動の充実 志を高める教育活動の推進
	◎ 豊かな心の育成	：人権教育の充実 自己有用感の育成 いじめ防止対策 教育相談週間の効果的活用 特別支援教育の充実
	◎ 健やかな体作り	：体力向上へ向けた年間を通じたスポーツチャレンジへの取組 よりよい生活習慣の形成 危機回避能力の育成
	◎ 愛郷心の育成・コミュニティスクールの充実	：地域や外部人材を活用した体験・交流活動の充実 学校運営協議会・PTAと協働した開かれた学校作りの推進
	◎ 働き方改革	：子どもと向き合う時間及び教材研究の時間の確保 時間外在校等時間の上限の遵守

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○主体的で対話的な授業づくり ○読書活動の推進	○授業の内容がよくわかると回答した児童90% ○学年で決めた目標冊数の本を読んでいる児童90%	・1時間の中に、自己選択・自己決定する場を作り、対話を中心とした学び合い型の学習を展開する。 ・図書室の本を活用した授業を仕組み、貸出冊数を視覚化して読書への関心を高める。							研究主任 図書主任
	○学習規律 ○家庭学習の充実	○学校では落ち着いて勉強することができている児童90% ○自分で決めてチャレンジする児童80% ○1日に決まった時間学習している児童85%。	・「鹿島の学び10ヶ条」から、各月の目標を設定し、月末に振り返りを行い、意識の徹底を図る。 ・「家庭学習パワーアップ週間」の取組状況を数値化し、児童にふり返る時間を設定することで自主的な学習の啓発を図る。							学力向上C
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○友達や自分の良さを認めることができたと回答した児童85%以上 ○感謝の気持ちをもって「ありがとう」と言えた児童85%以上	・全職員による自己有用感を高める4ポイントの徹底実践。 ・年間を通じた「あったかの木」や「やさしさの花」の取組を行い、全校児童への啓発を図る。 ・児童が集団の成員としての所属感と連帯感を高めることができるような集会活動の充実を図る。							
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○自分や他の人の生命を大切にたと回答した児童85%	・いじめアンケートを毎月1回実施し、気になる児童の情報を共有し、手立てについて全職員で共通理解をする。 ・SCやSSW等と関係機関と連携しながら組織的対応をすることで未然防止を図る。 ・やさしさの花の紹介をして自己肯定感を高める。							教育相談担当
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれてありがとう」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・「鹿島っこきらり」をもとに、児童のよい行いを具体的に褒めることを全職員で実践する。 ・単元(学習)目標を掲示したり、自己目標や一事行の振り返りと前ましを行ったりし、自分で決めてチャレンジする場作りを行う。							豊かな心部
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「進んで体をきたえることができている」と回答した児童85%以上。 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・異学年集団活動の充実や外遊びを推奨する。 ・委員会活動によるスポーツチャレンジやランニングウィーク等の取組を通して、運動の楽しさや、体を鍛えることへの意識を高める。 ・栄養職員と連携し、全学年で食育指導を実施する。							健康安全部
	○よりよい生活習慣の形成 ○危機回避能力の育成	○「だれにでも気持ちのよいあいさつや返事をした」と回答した児童85%以上 ○「自分や他の人の命を大切に」と回答した児童90%以上	・「生活パワーアップ週間アンケート」を年2回実施し、取組状況を数値化し、児童にふり返る時間を設定することでよりよい生活習慣の形成に対する意識を高める。 ・生活委員会を活用した生活目標の設定。 ・掲示板の活用や全校朝会等で、取組児童の紹介を行う。 ・年2回の避難訓練等における安全指導の強化。(対児童、対職員) ・集団登校の各班の自己評価の実施。 ・学校安全総合支援事業を活用した取組の実施。							安全担当
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間外在校等時間を月平均25時間以下。	・定時退勤日の設定(毎週水曜日)や定時退勤ボードの活用により、全職員の時間外在校時間に対する意識を高める。 ・会議は事前に議題・資料をデジタル掲示板に共有し、当日は議論と意思決定のみを行い、会議時間を短縮する。 ・アンケート等の集約は、Forms等デジタル化を進める。 ・教職員が協働的に学び合う体制作りや円滑なコミュニケーションをとれる雰囲気作り・環境作りを行い、働きやすい職場風土をつくる。							教頭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○児童と向き合う時間や教材研究の時間の確保に向けた業務の効率化	○1人1台端末活用し、授業準備や事務処理の短縮につなげることができた職員80%以上	職場内研修(OJT)を積極的に実施し、ロイノート等の活用方法について情報共有を行うことで、授業におけるタブレットの活用率を70%以上にする。 ・家庭学習におけるデジタルドリルの活用推進。 ・教材・資料等の共有化。							ICT担当

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●特別支援教育の充実	○個に応じた指導、支援の充実	○「配慮を要する児童への指導を工夫できた」と回答した職員90%	・定期的な情報共有の場を設定すると共に支援計画等の個人資料を活用して児童理解を図り、個に応じた配慮に繋げる。 ・ニーズの高いLD傾向児童への配慮や具体的支援についての研修会を全職員対象に実施する。 ・SCやSSW等の関係機関と連携した支援体制づくりの充実。							
○愛郷心の育成	○コミュニティスクールの充実	○地域の方々や楽しく交流し、鹿島のよいところ・自慢を知っていると回答した児童90%以上 ○学校サポーターや地域の外部人材を活用した授業を、各学年年間2回以上実施	・鹿島のよさや自慢等をまとめ、地域に発信する機会を設定する。 ・学校運営協議会やPTA(学校サポーター)等と協働した開かれた学校づくりを推進し、地域や外部人材を活用した体験・交流活動の充実を図る。							教務・教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--